

< 地域と協働し、生徒の豊かな心を育てる農業体験活動 >

団体・学校の特徴	地域や家庭との協働による教育活動が伝統的に行われている地域と共にある学校である。地域の伝統芸能の伝承学習や農業体験学習など、地元の方々の指導の下、特徴的な教育活動が年間を通して行われている。				
所在地(市町村名)	秩父市	会員数又は児童生徒数	102名	活動期間	4年5か月
活動内容	本校の目指す学校像「吉田に学び 吉田を誇る 笑顔・感動・夢のある元気な学校」の実現を目指し、1年生の総合的な学習の時間で行う取組。地域の方々の協力を得ながら、吉田地区に代々伝わる「借金なし大豆」の栽培・収穫等の農業体験及び収穫した大豆から味噌を作り試食をする体験学習。				

特徴的な活動

「借金なし大豆」農業体験学習

6月 植ええ



7月 土寄せ



8月 生育期



6月上・中旬に大豆の植ええを行います。大豆の芽が出たところで、除草と鍬やホーなどで土を株元に寄せる「土寄せ」を行います。その後は随時除草作業を行います。

10月 収穫



11月 脱穀



大豆が黄金色になる頃、収穫をし、3週間乾燥させた後、脱穀を行います。

2月 味噌作り



12月上旬頃、脱穀後の大豆を大きさ分類します。2月上旬に、今年度収穫し、脱穀した大豆を用いて味噌作りを体験します。この後、開封まで約10か月寝かせます。

次年度12月
樽開封・試食



次年度の12月頃、熟成した味噌樽を開封します。この味噌を使った料理を給食で味わいます。また、この味噌を「種味噌」として1年生が2月に味噌づくりに取り組みます。